・障がい者の生活支援について
・災害時における応援職員の受け入れ体制について



公明党
武者（むしゃ）　葉子（ようこ）

詳しい内容はこちら

安中市では、たとえ障がいがあっても住み慣れた地域で、安心して自分らしく、生き生きと暮らせるまちづくりに取り組んでいると思います。障がい等で不自由を感じている方々への生活支援について、親亡き後の支援、難聴者・人工内耳者支援について、市の取り組みを伺いました。

頻発する厳しい自然災害は、日本全国で多発し、住民の暮らしを脅かしています。阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、能登半島地震、また近年頻発する豪雨災害は、全国各地で多発し、甚大な被害をもたらしています。自治体の職員自身も被災を免れません。本市においても非常時の体制を整えておくことは重要と考えます。そこで、本市の災害時における応援職員の受け入れ体制の受援計画の策定状況、災害業務ごとの人数の算定、想定訓練の実施状況など、本市の見解を伺いました。



障がい福祉の窓口

市長に３つの政策提言をしました

福祉民生常任委員会　委員長　長嶋　陽子



3歳未満児における保育料無償化について

少子化対策として子育て世帯の経済的負担を軽減するため、県内他市の動向を踏まえ、３歳未満児の第一子保育料無償化に向けた検討を進める。

市内保育施設の紙おむつの取り扱いについて

国の通知に伴う使用済みおむつの処分により保育施設に負担が生じており、家庭ごみ同様の処理方法が可能か、現在の運用を検証する。

子どもの遊び場･居場所に関する情報発信の充実及び公園･児童館等の整備について

子育て世帯のニーズを踏まえ、既存の遊び場等の情報発信で利用を促進しつつ、市民ニーズと照らした効果的な公園や児童館等を整備する。

政治倫理審査会の結果を報告します

対象議員：吉岡完司　議員

事　　案：市内で開かれたスポーツ大会の開会式に招かれた際、現金３千円を包んで手渡した

結　　果：安中市議会議員政治倫理条例第４条第１号に違反する

措　　置：文書による戒告